

# 平成28年度 基本評価調書

施策名	高付加価値農業の推進	所管部局	農政部	作成責任者	農政部食の安全推進監 森田 良二	施策コード	06	01
		照会先	農政部食の安全推進局食品政策課 食品企画グループ(内線27-662)	関係課	食品政策課			

## Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

### 1 目標等の設定(その1)

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)			総合計画の指標	
		2	経済・産業	(1)農林水産業の持続的な成長	潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり			食料自給率(カロリーベース)
	1	生活・安心	(5)道民生活の安全の確保と安心の向上	豊かな食生活を実現する食の安全・安心の確保			HACCP手法による衛生管理導入施設数(累計)	
	2	経済・産業	(5)海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展	アジアなど海外への北海道産食品の輸出拡大			道産食品輸出額	
	北海道創生総合戦略	A3112, A3131, A3134		北海道 強化計画	B4221	新・北海道 ビジョン	C00106, C00107, C00309, C00310, C01202, C01204, C01205, C02704, C02705, C05901, C05902, C05903, C05910	
	特定分野別計画等	北海道食の安全・安心基本計画【第3次】、北海道クリーン農業推進計画、北海道有機農業推進計画、どさんこ食育推進プラン						
現状と課題	<p>・農家戸数の減少やグローバル化の進展などにより、農業経営をとりまく環境は厳しさを増している。</p> <p>・農村の活性化とその持続的な発展のためには、多様な地域資源の有効活用により、地域の潜在力を最大限に発揮し、産業の育成や雇用の確保、所得の増大を図ることが重要。</p> <p>・また、食の安全と消費者の信頼を確保し、安全な食品を供給するためには、生産から消費にわたって安全管理を徹底し、食品の安全性を向上させることや地産地消や食育などの愛食運動を通じた取組を進めて行くことが重要である。</p> <p>・こうした状況を踏まえ、農業の持続的な発展や消費者の多様なニーズに応える農業の振興に向け、消費者と生産者の結び付きの強化や食の安全・安心に関する各種施策を総合的に推進するとともに、6次産業化をはじめとする農産物の付加価値を高める取組への支援、さらには海外を含めた本道農畜産物の販路拡大などを図る必要がある。</p>			施策目標	<p>・食の安全・安心の確保に関する各種施策を総合的に推進するとともに、愛食運動を通じた消費者と生産者の結び付き強化や、国内外への道産農畜産物の販路拡大、地域資源を活かした6次産業化、農産物の付加価値を高める取組への支援、消費者等への正しい情報提供などの取組を推進する。</p> <p>・消費者の食の安全・安心や地球環境問題への関心が高まる中、環境と調和した持続可能な生産活動を展開するとともに、クリーン農業や有機農業の取組などを積極的に推進する。</p>			
施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>【安全・安心な食づくりと適切な情報の推進】</p> <p>〔道〕食の安全・安心条例に基づき、「食の安全・安心委員会」を設置、食のリスクコミュニケーションの実施、遺伝子組換え作物の開放系での栽培による交雑・混入の防止を措置。</p> <p>〔民間〕食品表示の適正化に向け、意見等を提言する道産食品全国モニターを各都府県に配置</p> <p>【消費者と生産者との結び付きの強化】</p> <p>〔道〕道産食材のPRブース設置や情報提供、食育推進検討委員会開催と優れた担い手の表彰</p> <p>〔市町村、各地域〕食育推進協議会、食育懇話会の開催</p> <p>【農業者の取組む6次産業化の推進】</p> <p>〔道〕北海道6次産業化サポートセンターの設置、6次産業化の取組に必要な経費への支援</p> <p>〔生産者等〕新商品の開発・製造などを含めた6次産業化の取組</p>			<p>〔海外への販路拡大に向けた取組の推進〕</p> <p>〔道〕生産者団体等を構成員とする協議会への参画、品目別のプラットフォーム会議の設置・運営</p> <p>〔関係団体〕品目別プラットフォーム会議への参画、海外プロモーションの実施</p> <p>【クリーン農業の総合的な推進】</p> <p>〔道〕指導チームの設置、減農薬技術の開発、現地実証ほの設置</p> <p>〔北海道クリーン農業推進協議会〕出前講座、環境保全効果のPR、審査会等の開催</p> <p>【北海道有機農業推進計画に基づいた有機農業の推進】</p> <p>〔道〕有機農業ネットワークの拡大、量販店でのプロモーション活動の実施、消費者への理解醸成</p> <p>〔民間〕研修受入農家に係る情報収集、各イベントでの相談ブース設置</p>	施策の予算額			
					H27	1,453,646		
					H28	1,340,252		
	H29							

今年度の  
主な取組

○:主要指標に  
係る取組  
○:その他の取組

(安全・安心な食づくりと適切な情報提供の推進)

道民の健康の保護並びに消費者に信頼される安全で安心な食品の生産及び供給に資するため、「食の安全・安心委員会」の運営や「きらりっぷ」の普及拡大など、食の安全・安心の確保に関する各種施策を総合的に推進する。

(消費者と生産者との結び付きの強化(愛食運動の推進))

北海道が有する豊富な「食」資源を活かし、産直市等において道産農畜産物の魅力を発信することにより、産地へ誘引し、地域の活性化を図る。

北海道食育推進計画【第3次】の効果的な推進に向け、道が取り組む食育に関して指導・助言する検討委員会を設置するとともに、優れた食育の担い手の表彰や食育懇談会の開催などを通じ、地域の食育の取組を支援。

(農業者の取り組む6次産業化の取組の推進)

農林漁業者等と2次・3次事業者が連携して取り組む6次産業化を推進するため、地域におけるネットワークづくりを推進するとともに、農林漁業者等の個別相談窓口として「北海道6次産業化サポートセンター」を運営する。

6次産業化ネットワークを構築して取り組む新商品開発等の取組やそれらに必要な加工・販売施設等の整備を支援する。

(海外への販路拡大に向けた取組の推進)

道産農畜産物・水産物の輸出拡大を図るため、北海道・ホクレン・ぎょれんの連携による積極的なプロモーション活動等を展開し、北海道食材の「ブランド化」を推進する。

品目毎に関係者によるプラットフォームを構築するとともに、テスト輸出を通して手続きや物流面での課題等を明らかにする。また、現地小売や卸等を招へいし、地域を巡回しながら地域産品による展示商談会等を実施し、道産農畜産物等の輸出品目の拡大を図る。

(クリーン農業の総合的な推進)

クリーン農業の一層の普及拡大を図るため、クリーン農業による環境保全効果の消費者理解を促進するとともに、消費者等に選ばれるクリーン農産物となるようブランド力をより確かなものとして販路を拡大する。

農協等と連携した産地の育成や高度クリーン農業技術の実証・普及、北海道クリーン農業推進協議会が実施するYES!clean表示制度の適切な運用や普及啓発の取組に対して支援を行う。

(北海道有機農業推進計画に基づいた有機農業の推進)

有機農業への新規参入者に対する支援や、慣行農家の一部有機農業への転換、いわゆる庭先有機、有機農業技術の開発・普及、有機農産物の販路拡大及び有機農業に対する理解の促進から、消費者に支えられる有機農業の確立と有機農業に取り組む農家戸数の増大を図る。

1 - 2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果		(関連する計画等)		
実 績 と 成 果 等		総合戦略	強靱化	ビジョン
<p>(安全・安心な食づくりと適切な情報提供の推進)                      食の安全・安心条例の点検・検証結果や道民からの幅広い意見を踏まえ、「北海道食の安全・安心基本計画【第3次】」に基づき、安全で安心な食品の生産及び供給、道民から信頼される表示及び認証を推進するとともに、情報・意見の交換や、相互理解の促進等に係る「北海道食の安全・安心委員会」の開催や「きらりっぶ」の普及拡大などの各種施策を、総合的・計画的に推進。</p>		A3112		C05910
<p>(消費者と生産者との結び付きの強化(愛食運動の推進))                      北のめぐみ愛食フェアの支援などを通じて、地産地消や食育など消費者と生産者等との結びつきを強化する「愛食運動」を総合的に進め、道民運動としての普及・定着を推進。                      道産食材を主体とした北海道地産地消お弁当キャンペーンを期間限定で実施し、道民の皆様にご道産食材の素晴らしさや美味しさなどをPR。                      「第2回北海道食育推進優良活動表彰」を実施し、3団体を表彰。また、学校給食における地場産物活用促進に関する情報提供や、北海道食育コーディネーターのあっせんなどに取り組んだ。さらに、「どさんこ食育推進協議会の開催による情報の共有化や関係団体との連携を図った。</p>		A3112		
<p>(農業者の取り組む6次産業化の取組の推進)                      「北海道6次産業化サポートセンター」を設置・運営し、農林漁業者等からの相談対応や六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定に向けたサポート活動を実施。道内3カ所にて人材育成研修会開催、新商品の商談・新たな連携の場として、「北海道6次産業化展示交流会」を開催。                      北海道らしい6次産業化及び地産地消を推進するための方向性を示す「北海道6次産業化・地産地消推進戦略」を28年3月に策定。</p>		A3131	B4221	C01202 C01204 C01205
<p>(海外への販路拡大に向けた取組の推進)                      道と農業団体等で構成する「北海道農畜産物・水産物海外市場開拓推進協議会」において、タイ・バンコク市内の高級百貨店での試食販売や、中国・北京市内のホテルにおいて現地料理人等を招待し、道産食材を使った料理を提供するプロモーション活動を実施。</p>		A3134	B4221	C00106,C00107,C00309,C00310,C02704,C02705
<p>(クリーン農業の総合的な推進)                      「北海道クリーン農業推進協議会」が実施するYES!clean表示制度の普及啓発や夏休み中の親子を対象とした生きもの調査等の開催を通じた消費者への理解促進等の活動を支援。                      消費者等への出前講座によるYES!clean表示制度の普及啓発とともに、クリーン農業イメージキャラクターやガイドブック・DVDを積極的に活用したPR活動、食品加工における需要の拡大等の取組を実施。                      道総研農業研究本部と連携し、だいこんなど4作物を対象とした高度なクリーン農業技術に係る試験研究を実施。</p>		A3112		C05902
<p>(北海道有機農業推進計画に基づいた有機農業の推進)                      「北海道有機農業研究協議会」が行う、有機農業への新規参入や定着促進に係る連携推進、研修受入農家のリスト化等の取組に対し支援。                      北海道有機農業協同組合や量販店と連携し、札幌市内の店舗に設置された有機農産物販売コーナーにおいて、有機農業や有機農産物の普及・啓発活動を実施。                      道総研農業研究本部と連携して、有機農産物の品質向上に向けた技術を開発するなど、有機農業技術の向上を図る。</p>		A3112		C05903
(2) その他の取組の成果等				
<p>国等提案・要望状況</p>	<p>【国費提案(H28.8月)】                      ・輸出相手国における輸入条件等の緩和や中国向け輸出に対応した米施設への指定に向けた国家間交渉を推進すること。                      ・輸出に取り組む意欲のある個別の生産者団体等が行う研修会や海外における輸出プロモーション、各種資料の翻訳等にかかる費用への補助等の支援を行うこと。                      ・有機農業の一層の推進のため、地方自治体が行う実施する地域に根ざした取組に対する支援の充実を図ること。                      ・地域の食育の効果的な推進のため、広域自治体でも運用が可能で食育推進計画作成の促進にも資するような助成の仕組みとすること。                      ・地域における6次産業化の取組を拡大するための核となる6次産業化サポートセンター運営の財源である交付金について、プランナーの派遣回数や農林漁業者の研修の充実を図ることができるよう、引き続き予算額の安定的な確保を図ること。</p>	<p>施策に関する 道民ニーズ</p>	<p>6次化の方向性は地域全体で、商工業者と組んで、こういったものを供給していくのが大事。消費者ニーズをしっかりと押えた上で6次化も取り進め、食品産業も興していくべき。(第2回農業・農村振興審議会)                      6次産業化では忙しくて時間のない中、作っては見たけれど販路がない、在庫を抱えているといった話をよく農家さんから聞くので、販路や労働力について考えていただきたい。(第1回農業・農村振興審議会)                      食育に大きな力を注ぐべきで、小さな頃から農業を理解して、できれば農業に関わる新規就農ということに少しでも結びつけば、小さな子供に食の大切さ、食物の生産というところを教えることも大切。(第1回農業・農村振興審議会)</p>	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
	6次産業化の推進に当たり、経済部のどさんこプラザマーケティング支援制度を活用した取組を実施	N0501	経済部食関連産業室	札幌駅の「どさんこプラザ」催事において、4件の生産者が延べ7回、農産物加工品を販売。この他振興局や市町村の主催により、どさんこプラザの催事に参加するなど6次産業化商品販売の取組を実施した。
		N0502		
	豊かな食生活を実現する食の安全・安心の確保を推進するため、関係部局と連携しながら、食の安全・安心に関する各種取組を実施する。	N0410	保健福祉部食品衛生課	「北海道食の安全・安心委員会」をH27年度に3回開催し、「北海道食品衛生監視指導計画」やHACCPの取組について、委員との情報共有・意見交換を行うなど、関係部と連携して食の安全安心に関する取組を実施した。
	道内各地の資源を活かし、海外需要の積極的な取り込みを図るため、「北海道食の輸出拡大戦略」に即し、関係部局と連携しながら官民一体となり、北海道産食品の輸出拡大を進める。	N0503	経済部食関連産業室	経済部と連携して輸出先国でのプロモーション活動など積極的なPRを進めた結果、本道から海外に輸出された農畜産物は約36億円(H27)で、前年度比、約46%増加した。また、北海道ブランドの認知度向上を図るため、27年10月に開催された「2015ミラノ国際博覧会」に出展を行い、世界各国の来場者に対して、料理ショーや試食を通じて、北海道の食の魅力を積極的にPRした。
	環境生活部とともに消費生活安定会議幹事会食品安全部会を開催し、消費者などからの食品の安全性や品質等に関する通報を共有化し、一元的に管理するとともに、国等の関係機関と連携するなど、適切な措置を実施	N0307	環境生活部消費者安全課	毎月開催される「消費生活安定会議幹事会食品安全部会」において、食の安全・安心に係る通報等の内容及びその対応状況に関する情報等の共有を行った。通報等の件数：827件(国、都府県等の他機関からの通報等277件含む。)
	生物多様性保全計画に基づき、関係部局と連携して、生物多様性保全に関わる施策(自然と共生する農耕地の整備等)を推進	N0301	環境生活部環境政策課、生物多様性保全課	多様な樹種・樹齢で構成された森林の造成面積[56万ha(H23) 58万ha(H26)]が増加するとともに、クリーン農業に取り組む生産集団数[390生産集団(H24) 407生産集団(H27)]や有機農業の取り組む農家戸数[341戸(H24) 726戸(H26)]が増加し、生物多様性の保全に配慮した森林施業の実施や自然と共生する農耕地の整備が行われ、生物多様性の保全に資する取組が進められた。

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H37					
食料自給率(カロリーベース) (%)		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	A	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準値	197	目標値	212	最終目標値	258					
〔指標の説明〕 北海道の食料消費が、道内の農業生産によってどのくらい賄われるかをカロリー(供給熱量)ベースで算出したもの	根拠計画	増減方向		達成率の算式		実績値	達成率	202	207	258.0	208.0	80.6%
		第5期北海道農業・農村振興推進計画		増加								

主	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H37					
HACCP手法による衛生管理導入施設数(累計)		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準値	511	目標値	960	最終目標値	1,500					
〔指標の説明〕 HACCPによる衛生管理を導入している施設の数	根拠計画	増減方向		達成率の算式		実績値	達成率	900.0	960.0	1500.0	682.0	45.5%
		北海道総合計画		増加								

主	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h37					
道産食品輸出額(億円)(歴年)		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h37	達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準値	663	目標値	833	最終目標値	1,500					
〔指標の説明〕 本道から函館税関を通じ、直接海外へ輸出された道産食品の通関額。平成30年に輸出額1,000億円という目標を達成し、以降それ以上をめざすこととしている。	根拠計画	増減方向		達成率の算式		実績値	達成率	748.0	833.0	1500.0	773.0	51.5%
		北海道総合計画		増加								

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H31					
6次産業化に取り組む事業体数(件)		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H31	達成度合	D	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準値	3,810	目標値	4,500	最終目標値	5,400					
〔指標の説明〕 6次産業化に取り組む事業体の数	根拠計画	増減方向		達成率の算式		実績値	達成率	4,000	4,300	5400	3760	69.6%
		北海道創生総合戦略		増加								

本施策に成果指標を設定できない理由	判定 (直近の達成率(%))	A	B	C	D	-	結果	
		100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可		
	主要指標	2			1			課題あり
関連指標				1			課題あり	

平成28年度 基本評価調書

施策名 高付加価値農業の推進

施策コード

06-01

Plan 事務事業の設定 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式2)

Do and Check 事務事業評価

4 一次評価結果 (各部署等による評価)

4 - 2 事務事業の評価

H28 整理番号	業務目標の設定 (P)											事務事業評価 (C)													
	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	平成28年度 執行体制(人工)					総合 戦略	強 靱 化	新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン	重 点 事 業	地 域 重 点	一次政策評価										
					事業費 (千円)	フルコスト									重点点検事項		H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番 号)	終 期	推 進 事 項	必要 な 見 直 し	予 算	サー ビス	方 向 性
						本 庁	出 先 機 関	人 工 計	人 件 費						フルコスト										
06030200	主	道産農畜産物 輸出促進支援 事業費	農業者等を対象とした輸出に 関するサポート体制を構築す るとともに、セミナーや研修 サポート会の開催	食品政策 課	578	0.6	0.0	0.6	4,947	5,525									継続(統合)	継続(統合)	統合				
06030300	主	道産農水産物 の「ブランド 化」推進事業 費	道、ホクレン、ぎょれんの連 携による積極的なプロモ ーション活動を展開し、道産 農畜産物・水産物の輸出拡大 を図る	食品政策 課	10,577	0.8	0.0	0.8	6,596	17,173									継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小				
06030400	主、関	道産農畜産物 産直市活性化 事業費	生産者が自ら販売する「産直 市」に、近年増加する外国人 観光客等を誘引し、体験や購 入を通じて「産直市」への興 味を喚起する	食品政策 課	2,232	0.3	0.0	0.3	2,474	4,706									継続(縮小)	継続(現状維 持)	見直し検討(指 標関連)				
06030500	主	新北海道らし い食育推進事 業費	どさんこ食育推進プランの効 果的な推進に向け、食育の担 い手の表彰や食育懇談会など を開催	食品政策 課	19,900	2.0	0.9	2.9	23,911	43,811									継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小				
06030600	関	6次産業化 ネットワーク づくり支援事 業費	本道の優れた農林水産物を活 かし、これまで主体であった 個別事業者の取組に加え、地 域の面的な広がりを持った取 組(ネットワーク化)を支援す ることによる、雇用と所得を 生み出す6次産業化の取組の 加速化及び農山漁村の活性化 と関連産業の振興	食品政策 課	1,499	0.5	2.5	3.0	24,735	26,234									継続(縮小)	継続(現状維 持)	見直し検討(指 標関連)				
06030700	関	6次産業化支 援体制整備事 業費	6次産業化に取り組もうとす る農林漁業者等を対象とした 個別相談、交流会等を実施す る「北海道6次産業化サポ ートセンター」を設置・運営	食品政策 課	31,986	0.7	0.2	0.9	7,421	39,407									継続(現状維 持)	継続(現状維 持)	見直し検討(指 標関連)				
06030800	関	6次産業化施 設等整備事業 費	六次産業化法により認定され た農林漁業者等が行う6次産 業化ネットワークを構築して 実施するプロジェクトの中で 必要となる加工・販売施設等 の整備を支援	食品政策 課	393,760	0.6	2.2	2.8	23,086	416,846									継続(縮小)	継続(現状維 持)	見直し検討(指 標関連)				
06030900	主	選ばれるク リーン農産物 ブランディ ング事業(選 ばれるク リーン農 産物生産 拡大事業)	指導助言。指導者要請研修会 等を開催し、クリーン農業の 取組を強化を図る	食品政策 課	978	0.9	0.6	1.5	12,368	13,346									継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小				
06031000	主	選ばれるク リーン農産物 ブランディ ング事業(高 度ク リーン農 業技術開 発・普及 対策事業)	北海道施肥ガイド作成や現地 指導チームによる農家研修会 を実施し、クリーン農業の取 組のレベルアップを図る	食品政策 課	3,084	0.5	0.6	1.1	9,070	12,154									継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小				

H28 整理番号	業務目標の設定(P)														事務事業評価(C)												
	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	平成28年度						総合 戦略	強化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	一次政策評価											
					事業費 (千円)	執行体制(人工)				フルコスト						重点点検事項			H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番 号)	終 期	推 進 事 項	必要 な 見 直 し	予算	サー ビス	方向 性
						本 庁	出 先 機 関	人 工 計	人 件 費							連 携 事 業	対 応 状 況	予 算									
06031100	主	選ばれるク リーン農産物 ブランディ ング事業(わ かりやすい ク リーン農業 推進事業費 補助金)	耕種の防除と農薬散布を組み 合わせた総合的防除技術によ る減農薬技術の開発	食品政策 課	2,800	1.1	0.0	1.1	9,070	11,870									継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小						
06031200	主	有機農業拡 大促進事業費	有機農業への新規参入者に対 する支援や、慣行農家の一部 有機農業への転換、有機農業 技術の開発・普及、有機農産 物の販路拡大の推進	食品政策 課	6,329	2.0	1.0	3.0	24,735	31,064									終了	終了	終了						
06031300	主、主	食の安全・安 心条例推進費	条例に基づく「食の安全・安心 委員会」の設置・運営、食のリ スクコミュニケーションの開 催など	食品政策 課	3,188	1.5	1.0	2.5	20,613	23,801									継続(縮小)	継続(現状維 持)	見直し検討(指 標関連)						
06031400	主	道産食品全 国モニター運 営費	日常の買い物などを通して道 産食品の表示をチェックする 表示モニターを全国に配置	食品政策 課	292	1.5	0.0	1.5	12,368	12,660									継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小						
06031500	主	きらりっぷ 普及拡大事業費	道産食品に対する消費者の信 頼確保と北海道ブランドの向 上を図るため、「道産食品独自 認証制度(きらりっぷ)」の普及 拡大を推進	食品政策 課	526	0.9	0.1	1.0	8,245	8,771									継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小						
06031600	主	環境保全型 農業直接支援 対策事業費	環境保全型農業の取組の拡 大・定着、農業の持続的な発 展	食品政策 課	862,523	1.5	2.0	3.5	28,858	891,381									国に対し、地方負担が生じない よう、国負担のみで実施可能な 制度とするよう強く要望するこ と。 H29予算に向けた国費提案において要 請した	継続(拡充)	継続(現状維 持)	現状維持					
06031800	関	北海道6次 産業化トライ アル事業	地域の6次産業化の取組をレ ベルアップし、ビジネスとし ての本格的展開につなげるた め、道産農林水産物を活用し た新商品開発や販路拡大等の 取組を支援する。	食品政策 課	0	0.3	0.1	0.4	3,298	3,298									継続(現状維 持)	継続(現状維 持)	見直し検討(指 標関連)						
06031900	主	道産農畜産 物輸出品目拡 大総合事業	道産農畜産物の輸出品目拡 大に向け、品目毎に関係者か らなるプラットフォームを構築 して、課題の抽出やテスト輸 出を行うとともに、バイヤー を招へいし、地域での商談会 等を行う。	食品政策 課	0	0.8	0.2	1.0	8,245	8,245									継続(現状維 持)	継続(現状維 持)	見直し検討(連 携関連)						
06032099	主、関	安全・安心な 食づくりに関 する事務	食の安全・安心確保に向けた 情報収集・提供、食づくり名 人の登録、愛食レストラン、 愛食大使、イベント等への各 種後援など	食品政策 課	0	2.5	3.2	5.7	46,997	46,997									-	継続(現状維 持)	見直し検討(指 標関連)						





5 一次評価結果

	評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析 (具体的成果・連携状況)	判定
主要指標	課題あり	<p>&lt;食料自給率[A]&gt; 小麦(2万t)、大豆(1.2t)、てん菜(13.2t)などの生産量が順調に増加するなど、着実に食料自給率を向上させることができた。</p> <p>&lt;HACCP手法による衛生管理導入施設数[D]&gt; この指標は保健福祉部と共有しているものであり、当部は安全・安心な食づくりの観点から関与しているが、当部としては、「北海道食の安全・安心基本計画(第3次)」に基づき、安全・安心な食に係る取組を総合的、計画的に推進している。</p> <p>&lt;道産食品輸出額[A]&gt; この指標は経済部と共有しているものであり、農産物の海外への販路拡大の観点から関与。関係者と一体となった取組により、順調に推移している。</p>	<p>&lt;施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか&gt; 施策に対する取組は各項目とも計画どおり実施・推進している。</p> <p>&lt;施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現にむけて進捗しているか&gt; 高付加価値農業の推進のための必要な諸施策の提案を国に対して実施しており、状況の進捗が認められる。</p> <p>&lt;道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか&gt; 「北海道農業・農村振興条例」で設置された「北海道農業・農村振興審議会」を複数回開催し、施策の推進に役立たせるとともに、「第5期北海道農業・農村推進計画」策定の際には、パブリックコメントを実施し、その意見を参考している。</p>	+ 評価
関連指標	課題あり	<p>&lt;6次産業化に取り組む事業体数[D]&gt; 農家戸数の減少により目標達成には至らなかったが、6次産業化に取り組む事業体の割合は横ばいで推移した。</p>	<p>&lt;施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか&gt; 農畜産物の輸出拡大のため経済部食産業推進室が実施する施策と連携するとともに食の安全・安心や食育、環境保全型農業について関係部と連携を図ることができた。</p>	

総合評価	課題等はあるが引き続き推進	評価の概要	指標の一部に改善を要するものがあるが、施策全体の分析がプラス評価であることから、評価は「課題等はあるが引き続き推進」とする。
------	---------------	-------	--

次年度に向けての課題と今後の方向性 (対応方針)		(関連する計画等)		
方針	課題と方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
	食育の推進に資する人材の育成に向け、体制づくりを強化するとともに、将来を担う若い世代や子どもをターゲットとして、食産業立国北海道に相応しい食習慣の定着や食文化の継承につながる取組を行う。さらに喫緊の課題である食品ロス対策について庁内関係部課による検討の場を設け、食べ残し等の削減に向けた普及・啓発を行う。	A3112		
	農畜産物輸出は、品目毎に出荷時期、最適な輸送方法、輸出先国での需要などが大きく異なることから、品目毎の特性に応じた戦略的な取組が不可欠である。これまでの事業の成果を踏まえ、品目別に戦略的なプロモーションをターゲット国を絞って集中的・継続的に実施。また、輸出に成功するものの、期間限定、もしくは単発での「商品棚・売り場」確保に終わり、翌年以降の取引に繋がらない。海外への農畜産物通年供給は、輸出拡大に不可欠であり、複数産地の品目集約やリレー方式による出荷体制を構築し、通年供給できる仕組みの構築を目指す。	A3134	B4221	C00106,C00107,C00309,C00310,C02704,C02705
	諸外国における有機食品市場は拡大傾向にあり、日本においてもオーガニック市場の拡大が見込まれており、こうした動きを踏まえて策定する、H29年から5カ年を期間とする「第3期北海道有機農業推進計画」の推進に必要な施策を推進。	A3112		C05903

施策名	高付加価値農業の推進	施策コード	06	01
-----	------------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	<p>【施策目標の達成状況(目標達成に向けてさらなる取組が必要)】                  目標達成に遅れが見られる「食品の安全性確保対策」の促進に向け、関係部局や関係機関の連携により、HACCP導入を担う人材育成の充実を図るなど、より実効性の高い取組となるよう検討すること。                  同じく「農業の6次産業化」の推進に向け、関係部局や関係機関と連携し、消費者ニーズを捉えた販路拡大を図るなど、より実効性の高い取組となるよう検討すること。</p> <p>【施策の緊急性・優先性(緊急性が高く優先的に取り組む必要)】                  高付加価値農業の推進に向けて、東京オリンピック・パラリンピックを契機としたクリーン農産物等の供給体制の構築を一層推進するため、環境生活部などとの新たな連携を検討すること。                  なお、連携に当たっては、施策間で共有する成果指標を設定すること。</p>
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	高付加価値農業の推進	施策コード	06 01
-----	------------	-------	-------

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
06030200	道産農畜産物輸出促進支援事業費					継続(統合)	継続(統合)	統合	統合		統合	
06030300	道産農水産物の「ブランド化」推進事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06030400	道産農畜産物産直市活性化事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		縮小	
06030500	新北海道らしい食育推進事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		拡充	
06030600	6次産業化ネットワークづくり支援事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		縮小	
06030700	6次産業化支援体制整備事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		現状維持	
06030800	6次産業化施設等整備事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		縮小	
06030900	選ばれるクリーン農産物ブランディング事業(選ばれるクリーン農産物生産拡大事業)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06031000	選ばれるクリーン農産物ブランディング事業(高度クリーン農業技術開発・普及対策事業)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06031100	選ばれるクリーン農産物ブランディング事業(わかりやすいクリーン農業推進事業費補助金)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06031200	有機農業拡大促進事業費					終了	終了	終了	終了		終了	
06031300	食の安全・安心条例推進費					継続(縮小)	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		縮小	
06031400	道産食品全国モニター運営費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06031500	きらりっぷ普及拡大事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06031600	環境保全型農業直接支援対策事業費					継続(拡充)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持	国に対し、地方負担が生じないよう、国負担のみで実施可能な制度とするよう強く要望すること。	拡充	国に対し地方負担が生じないよう要望していく。
06031800	北海道6次産業化トライアル事業					継続(現状維持)	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		終了	

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)						二次政策評価		主な対応		
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
06031900	道産農畜産物輸出品目拡大総合事業					継続(現状維持)	継続(現状維持)	見直し検討(連携関連)	見直し検討		縮小	
06032099	安全・安心な食づくりに関する事務					-	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		現状維持	
06032199	食品政策課総合調整等業務					-	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討		現状維持	

施策名	高付加価値農業の推進	施策コード	06 01
-----	------------	-------	-------

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部署等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<p>&lt;新たな取組等&gt;                      ・若い世代への食育として食育ワークショップの開催や、食品ロス削減対策として庁内関係部と連携し食品ロス対策部会を開催、情報共有・方向性の検討を行い、取組を推進する。                      ・人材育成に向けた体制づくりとして食育推進協議会及び食育ネットワーク会議の開催、若い世代への食育として食育ワークショップの開催や、食品ロス削減対策として庁内関係部と連携し食品ロス対策部会を開催、情報共有・方向性の検討を行い、取組を推進する。</p>
	<p>&lt;新たな取組等&gt;                      ・通年で道産農畜産物を安定的にリレー輸出する体制を構築するため、輸出先国における通年売場の設置に取り組む。                      ・米、青果物、牛肉等の重点品目毎に、各品目の課題等を踏まえた戦略的なプロモーション活動等を実施するとともに、通年で道産農畜産物を安定的にリレー輸出する体制を構築するため、輸出先国における通年売場の設置に取り組む。</p>
	<p>&lt;新たな取組等&gt;                      有機農業への新規参入者受入による定住促進や先進事例の取組普及、有機農業の経営指標の構築に取り組む。</p>

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応
【施策目標の達成状況(目標達成に向けてさらなる取組が必要)】	<p>・HACCPに取り組む事業者に対しては、関係部局と連携した人材育成のための講習会を引き続き実施するほか、現地に赴き施設の状況に応じた技術支援を実施する。                      ・6次化ネットワーク活動交付金を活用した人材育成事業に取り組む民間事業者との連携を強めるとともに、整備事業の支援充実を国に要請してきた結果、来年度より中山間地における取組みへの補助率かさ上げが措置(3/10以内 1/2以内)されたことから、これを活用し、農業の6次産業化に資する取組を推進する。</p>	【施策の緊急性・優先性(緊急性が高く優先的に取り組む必要)】	<p>環境生活部を中心とした庁内各部の連携「北のTOPプロジェクト」の下、環境生活部と連携したPRを行うとともに、関係団体と連携した協議会を設置し、オリパラに向けた道産食材供給体制の構築に取り組む。連携に当たっては施策間で共有する成果指標を設定する。</p>

平成28年度 基本評価調書

施策名	高付加価値農業の推進	施策コード	06	01
-----	------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	9 事業	0 事業	1 事業	7 事業	1 事業	0 事業	1 事業	19 事業
反映結果	0 事業	2 事業	3 事業	11 事業	1 事業	0 事業	2 事業	19 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
2 事業